



心を磨く

校長 河合 麻紀

12月9日の大縄大会では、多くの保護者の皆様、園の先生方にご参観いただき、ありがとうございました。子どもたちは、当日、素晴らしい連続跳びを見せてくれました。しかし、最初から上手く跳べたわけではありません。どの学年にも上手く跳べない子がクラスに何人かいました。上手く跳べない仲間に、コツを教えたり、進んで仲間の背中を押してあげたりしたのは、子どもたち自身です。大会当日は、学級で円陣を組んで声を出すクラスや、他学年の仲間を必死に応援するクラスもありました。子どもたちが一年を通して培ってきたぽかぽか言葉やかがやき見つけを中心とした思いやりの心の一端が成果として表れていたことを大変うれしく思いました。

大会終了後は、学年部で表彰式を行いました。優秀賞だけでなく、成長賞、ぽかぽか賞など、多方面で子どもたちを価値付けしました。今後も、あらゆる機会を通して、一人一人の自己有用感を高めていきたいと思います。



また、11月下旬より、全職員と生活委員会が総力を挙げて挨拶運動に取り組みました。自らが先どり挨拶をすることはもちろんですが、よい挨拶をした仲間にコメントを書いたカードを渡すという取組も行いました。子どもたちは、仲間や先生方からの温かいメッセージに励まされ、



多くの人に挨拶をして自らの姿を高めようとしてしました。さらに、大掃除週間に合わせた「もくもく掃除で私語0・ごみ0を目指そう」の取組も環境委員会が全校に呼びかけて行ってくれました。日を追うごとに、私語0はもちろん、懸命に床を掃いたり磨いたりする子どもたちの姿が増え、心打たれる毎日でした。

温かい関わりも挨拶も掃除も「心を磨く」ステップとなりました。いよいよ明日から冬休みに入ります。学校では、終業式で「命の大切さ」「年末年始の気持ちのよいあいさつ」「家族の一員として働くこと」について話をしました。短い冬休みですが、年末の大掃除を一緒に行う、地域・家庭・園で年末年始の行事を楽しむなど、ゆったりと過ごしていただけたらと思います。

最後になりますが、家庭・園、地域の皆様のご理解・ご協力により2学期を無事に終えることができました。本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。まだまだ、感染症等が猛威を振るっています。どうぞ、健康に留意されよいお年をお迎えください。

◆ 1月の主な行事			溝口ＳＣ（スクールカウンセラー） 1/15（午後）・1/22（午前） 石崎ＳＳ（スクール相談員） 1/28（午前）		
5	月	学校閉庁日	21	水	昼活：児童集会 一斉下校 14:30
8	木	3学期始業式 一斉下校 13:00	22	木	命を守るミニ訓練 ⑥委員会
9	金	書き初め会 一斉下校 13:30	24	土	郡図工美術作品展・ふれあい作品展
13	火	発育測定 ⑤委員会 1-4年：13:30 下校	25	日	郡図工美術作品展・ふれあい作品展
14	水	発育測定 1-4年：13:50 下校	27	火	ふれあい作品展参観（つばさ1・2組）
15	木	1-2年 13:50 3-6年 14:45 下校	28	水	昼活：わくわく遊び
16	金	1-2年 13:50 3-6年 14:45 下校	29	木	一斉下校 14:45
		昼活：読み聞かせ			
◆ 2月の主な行事			溝口ＳＣ（スクールカウンセラー） 2/12（午前）・2/26（午前） 石崎ＳＳ（スクール相談員） 2/4（午前）・2/18（午後）		
1	日		15	日	
2	月	新1年生入学説明会	16	月	
3	火		17	火	PTA 指名委員会 18:30
4	水	昼活：読み聞かせ	18	水	昼活：わくわく遊び
5	木	⑥クラブ（3年-クラブ見学）	19	木	漢字の力定着テスト ⑥クラブ（最終）
6	金	清掃活動・授業参観 一斉下校 14:50	20	金	昼活：読み聞かせ
7	土		21	土	
8	日		22	日	
9	月	命を守るミニ訓練	23	月	天皇誕生日
10	火	昼活：わくわく遊び	24	火	一斉下校 14:45
11	水	建国記念の日	25	水	⑤6年生を送る会 第3回学校運営協議会
12	木	朝：心のアンケート ⑥委員会	26	木	⑥委員会（最終）
		計算の力定着テスト	27	金	一斉下校 14:45
13	金		28	土	
14	土				

◆お知らせ

「6年生を送る会」に向けて

- ・1月28日（水）の昼活動は、6年生が中心に企画する最後のわくわく遊びがあります。また、2月25日（水）には、「6年生を送る会（第1部）」を行います。各学年が1年間の成長を発表し、6年生への感謝の気持ちを伝えます。詳しい時間等は、すぐーるでお知らせします。お時間のある方は、ぜひご参観いただき、子どもたちの一年間の成長をご覧ください。

情報モラルの向上について

- ・冬休みを迎え、家庭でもタブレットやスマートフォン、通信型ゲーム機を使用する機会が増えると思います。お子様の使い方しだいで被害者にも加害者にもなることを再度ご確認していただき、「より学習がしやすいツール」「誰もが楽しめるツール」として有効に活用できるように、約束づくりと見届けをよろしくお願いします。